

鹿沼市 花と緑と清流のまちづくり基本計画

～みんなでつなぐ緑のまち 鹿沼～

平成28年度 施策の状況



平成30年1月



1. 花と緑と清流のまちづくり基本計画

花と緑と清流のまちづくり基本計画（以下、本計画とする。）の目的は、鹿沼市（以下、本市とする。）にある緑地の保全、緑化の推進を図り、花と緑と清流によるまちづくりを進めていくことです。本市の約7割は山林や田畑であり、これらの自然豊かな緑が美しい景観の形成を担っています。この美しい緑を後世にも受け継いでいくために、本計画の施策を通じて緑の質の向上や保全を図る必要があります。

この報告書は平成28年度の各施策の状況を報告し、緑に対する意識の向上を図ることを目的に作成したものです。



2. 緑の取組みの報告方法について

各年度の緑の取組みについては、実績を総括しホームページに掲載します。

また、5年に一度のアンケート調査を実施する年度には、過去5年間の取組み内容を総括し、冊子を作成します。冊子は各自治会、公共施設、及びアンケート調査対象者に配布します。

平成 28 年度 施策の状況報告

1. 緑の保全

緑は、美しい景観の形成や市民の憩いの場としての機能だけでなく、市民の暮らしを守るために必要な機能も備えています。

森林には、水を蓄える機能や土砂流出を抑える機能等があります。その機能が十分に発揮できるよう、保安林指定区域の拡大及び管理を行っています。

【28年度の主な実績】

- ・保安林の指定を 105ha 拡大し、保安林面積は全体で 16,782ha になりました。
- ・鹿沼市森林整備計画を見直し、平成 29 年度から平成 39 年度を計画期間とする計画を新たに策定しました。

また、緑を保全していくためには、生態系の維持も必須となります。区域外から持ち込まれた外来種により、在来種へ影響が発生します。適正な外来種への対応と在来種の保護を行うことで、生物多様性の保全を進めています。

【28年度の主な実績】

- ・「深津のザゼンソウ群落」個体数調査を実施しました。
- ・特定外来生物への対策として、アライグマ用（ハクビシン兼用）の箱罠を活用した捕獲の推進をしました。

【鹿沼で目立つ特定外来植物】



アレチウリ



オオキンケイギク

2. 緑化の推進

今ある緑を保全していくことはもちろんのこと、質の高い緑（例：しっかりと手入れをされている、のどかな田園風景等）を増やしていくことも重要です。市内に質の高い緑を増やすべく、緑化の推進を行っています。

【28年度の主な実績】

- ・景観重要樹木を指定しました。（十二社神社のイチョウ、光明寺の枝垂れ桜）
- ・各学校における「花いっぱい運動」を実施しました。

今後、市内に美しい緑が溢れるよう、より一層、緑化の推進を行っていきます。



十二社神社境内 イチョウ



光明寺 枝垂れ桜



花いっぱい運動

3. 緑に対する意識の向上

住民一人ひとりが、自らの住む地域の緑に対して責任を負っていると自覚し、保全や推進を行っていくことが重要となります。緑に対して関心・知識を持っていただくために、さまざまな体験イベントや勉強会を実施しました。

【28年度の主な実績】

- ・かぬま生涯学習大学の講座において、環境学習指導者養成コースを開催しました。(環境学習リーダー認定者は44人へ)
- ・こども環境学習出前講座を開催し、計77人が参加しました。
- ・新たに8校を環境学習推進校に認定し、環境学習推進校は計37校になりました。

また、農業を支える新たな担い手の育成が重点課題となっています。そこで、新規就農者に対して積極的な支援を行うとともに、地域農業の中心的な役割を担う農業者を育成します。

【28年度の主な実績】

- ・農道2地区、総延長770mを整備し、農業者の定住を促進しました。
- ・下粕尾地区の団体が、里芋の収穫やこんにやく作りなどの体験活動、地元直売所での収穫祭やイベントへの出展などの都市農村交流に取り組みました。



こども環境学習の様子

4. 公園の再整備や配置の見直し

都市公園は市内に 78 か所あり、そのうち、開設から 30 年以上経過している公園は 27 か所で全体の約 35%を占めています。さらに 10 年後には 53 か所になり、全体の約 68%を占めることとなります。公園を安心して利用することができるように、本市では「公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設の更新を行っています。

【28年度の主な実績】

- ・たいよう公園、ほか6つの公園で、遊具の更新を行いました。
(滑り台4基、鉄棒1基、健康遊具6基 など計15基)

公園をたくさんの方に利用いただけるよう、安心して利用できる安全な公園づくりを進めていくとともに、魅力ある公園づくりをより一層推進していきます。

[たいよう公園]



更新前
[複合遊具]



更新後
[複合遊具]



更新前
[球体ジャングルジム]



更新後
[複合型健康遊具]

5. 共通方針

緑地の保全、緑化の推進は、市民・事業者・行政が一体となり、協働で進めていくことが理想です。自らができる範囲で周囲の環境の維持向上を図るために、さまざまな取組みが行われました。

【28年度の主な実績】

- ・フラワーロードを推進し、春冬二度の花の植替えを行いました。
(5路線、2,300m、126基)
- ・オープンガーデンを推進しました。(18箇所で実施)
- ・環境美化推進団体(きれいねっと鹿沼登録団体)への支援を行いました。



フラワーロード
[田町通り]



フラワーロード
[末広通り]



フラワーロード
[庁舎前通り]



フラワーロード
[例幣使通り]



フラワーロード
[古峯原宮通り]

オープンガーデン





用語解説 (五十音順)

- ・ **オープンガーデン事業**

自宅や店などの個人の庭を、一般の人へ向けて公開することをオープンガーデンといいます。

本市では、庭だけでなく玄関先などでコンテナガーデンを行っている方にも参加してもらい、鹿沼市独自のオープンガーデンを展開しています。

- ・ **鹿沼市森林整備計画**

地域の森林・林業の特徴を踏まえた森林整備の基本的な考え方や、地域の実情に即した森林整備を推進するための森林施業の標準的な方法及び森林の保護等の規範、路網整備等の考え方等を定める長期的な視点に立った森林づくりの構想のことをいいます。

- ・ **かぬま生涯学習大学**

生涯を通して自由に学び、自己の能力を最大限に発揮し、その学習成果を地域や職業、生活の中で生かすことを支援するために開学した仮想市民大学のことをいいます。

- ・ **環境学習推進校**

児童生徒に対して、環境問題についての関心を高めるとともに、地球温暖化防止のための学校全体での取り組みや様々な教育活動を通して、人間と環境との関わりについて理解を深め、小中学校における環境教育の充実を図る目的で指定される学校のことをいいます。

- ・ **環境学習リーダー**

環境学習講座の基礎課程と指導技術課程を受講・修了した方をリーダーに認定します。認定された方は、市民を対象とした講座などの場で講師として活躍しています。

- ・ **きれいねっと鹿沼**

鹿沼版アダプト・プログラムとして実施している事業のことをいいます。「アダプト・プログラム」とは市民と行政が協働で進める、新しい「不法投棄防止活動」のことです。市民が美化活動を行い、市がその活動を支援しています。（清掃用具の貸与など）

- **公園施設長寿命化計画**

地方公共団体等における公園施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、公園施設の安全性確保と機能保全及び維持管理予算の縮減を目的とした計画のことをいいます。

- **特定外来生物**

「特定外来生物被害防止法」に基づき、環境省が指定している、生態系や人体、農林水産業に悪影響を与える恐れがある国外由来の種のことをいいます。

- **都市公園**

地方公共団体が設置した、都市公園法に定められる公園または緑地のことをいいます。

- **フラワーロード事業**

対象エリア内の幹線道路をフラワーロードに指定し、街路灯にフラワーポットを設置します。そして、近所の住民や商店、事業主がオーナーとなり、日々の維持管理や花の植替えなどを行います。

- **保安林**

危害の防止、産業の保護などの公共目的を達成するために、伐採や開発に制限を加える森林のことをいいます。

